

No. 69

令和5年1月1日



シルバー ふくちやま



しめ縄製作

しめ縄製作委員会は、独自事業として16年目になります。家庭用のもの、神社仏閣用の特注品、合わせて約2500個のしめ飾りを毎年製作しています。

公益社団法人 福知山市シルバー人材センター

■福知山市昭和新町162番地 ■TEL.0773-23-7677 ■FAX.0773-23-7678
■Email : dokkoise@sjc.ne.jp ■URL : <https://webc.sjc.ne.jp/dokkoise/>

三和連絡所

■福知山市三和町千束530番地 ■TEL.0773-59-2170 ■FAX.0773-59-2171

会員数 635名

男 434名
女 201名

(令和4年12月1日現在)

年頭のごあいさつ

公益社団法人 福知山市シルバー人材センター



理事長
中里 嘉久

福知山市シルバー人材セン

ター会員の皆様をはじめ、ご家族、関係各位の皆様方には、令和五年の輝かしい新春を、健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

平素はシルバー人材センターの事業運営につきまして、格別のご支援、ご指導を賜り、誠に有難うございます。心より、御礼と感謝を申し上げます。

この、「コロナ禍」の中、私達を取り巻く世の中の全てが大きく、変わろうとしています。

少子高齢化の時代、地域社会の担い手として、シルバー人材センターの役割も、益々大きく求められております。人にやさ

しく、人を大事に、人を大切に、出来る毎日に、そして、シルバー人材センターの理念である「自主 自立 共働 共助」の下に、人材センターの大きな課題であり、一人ひとりの、喫緊の課題でもある、人権意識の向上が求められております。

この一年も、大変厳しいものと思われませんが、会員 役員、職員が、一丸となって乗り越えていかねばと思えます。重ねてシルバー人材センターの未来のために、ご尽力いただきたく願っております。

結びに、会員の皆さま、ご家族の方にとりまして、健康で幸福多き一年でありますことを、心から祈念申し上げます。ご挨拶といたします。



会員互助会会長
横田 義和

明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、ご健康で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は、会員互助会の諸行事に対しご協力いただき誠にありがとうございます。私は、昨年五月に開催されました第十八回会員互助会定期総会において互助会会長に就任しました横田義和でございます。何とぞよろしくお願い申し上げます。

さて、新型コロナ禍による社会状況の変化は早くも四年目に入ろうとしています。その間、互助会の各種行事も中止を余儀なくされ、全体的に閉塞状況が続いてまいり

ました。しかしながら、会員相互の親睦と親和を図るという互助会本来の目的を考えますと、現状に手をこまぬいている訳にはいきません。少しでも前へ進めていかなければならないと思うのです。

「居る処を楽しむ」という言葉を、私は遠い昔（私の高校時代の社会の授業中）に聞いたことがあります。それは「どんな状況の中でも、先ず自分が率先して参加し、楽しもう。そうすることで、その場は開けてくるのだ」という心意気をその先生は教えてくださったのです。自分が所属する団体や地域社会を少しでも良くしよう、風通しのよい居心地の良いものになろうという気持ちは誰もが例外なく持っている感情です。いま、会員であるあなたがシルバー人材センターを、会員互助会をどうか盛り上げてください。

結びに、会員の皆様並びにご家族の皆様にとりまして、健康で幸多き年でありますことをご祈念申し上げます。



福知山市長
大橋 一夫

新年あけましておめでとうございます。

福知山市シルバー人材センターの皆様並びにご家族の皆様には、清々しく新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

平素は、市政推進に格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。また、シルバー人材センターの皆様には、高齢者への就業機会の提供を通じて、働くことによる生きがいの創出と地域社会の活性化にご尽力いただき、市民の暮らしを支えていただいておりますことに重ねて感謝申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症対策の徹底と社会経済活動を両立させる動きが段階的に進み、地域社会が少しずつ賑わいを取り戻した一方、ロシアによるウクライナ侵略など世界

情勢の混乱による急激な原油高、物価高騰、円安が私たちの生活に大きな影響を与えています。

現在、福知山市は市民の約30%が65歳以上の高齢者であり、全国での高齢化率も年々増加の一途をたどっている中で、その働き方も多様化している状況です。

シルバー人材センターは、高齢社会を支える中核的な組織として、地域社会において重要な役割を担われています。本市といたしましては皆様と支え合い、高齢者の方々の生きがいと地域社会の発展のために、共に尽力してまいります。

そして今後も、会員の皆様方がお互いを尊重し、生き生きと気持ちよく働くことができる就業機会の確保に積極的に取り組み、センター事業が益々充実・活性化されますことを大いに期待しております。

結びにあたり、福知山市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様のご健康とご多幸を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

市長要望



令和4年12月2日 理事長、副理事長、事務局長が、大橋一夫市長のもとを訪れ、次年度の運営支援並びに業務発注について要望しました。
今回も、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮して少人数での要望となりましたが、会員数の減少と会員の高齢化といった当センターの現状を説明するとともに、シルバー人材センターを取り巻く直近の情勢を説明し、要望書を提出しました。

インボイス制度について(適格請求書等保存方式)

センターの皆さんにお支払いする配分金について

～配分金には消費税が含まれています～

派遣を除く請負就業の対価として会員の皆さんに支払われる配分金には内税として消費税が含まれています。つまり、シルバー人材センターからは、消費税も含めて支払っているということになります。

本来、この消費税は各会員が税務署に納める義務がありますが、会員のほとんどが年収1千万円以下の免税事業者となっているため、納めなくてもよいことになっています。

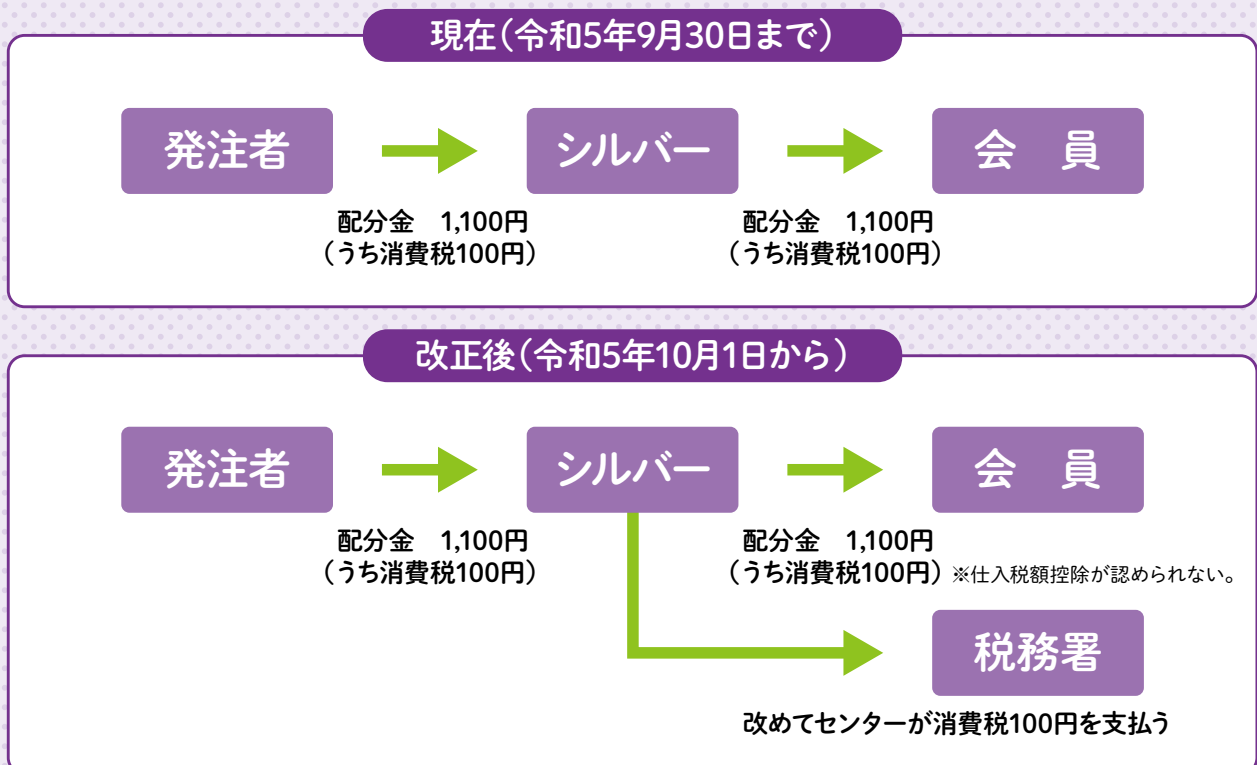
しかしながら、令和5年10月1日からインボイス制度(適格請求書等保存方式)の導入が予定されています。

この制度の改正では、シルバー会員を含む免税事業者との取引について、消費税にかかる仕入れ控除が認められなくなるため、シルバーは会員へ消費税を払っても払ったことにならず、会員に払っている消費税と同額を税務署に納めなければならなくなります。

具体的には下図のようになります。仮に配分金が1,100円であったとします。今は1,100円がそのまま会員に支払われ、センターとしても会員に100円の消費税を支払ったことになっています。しかし、改正後は消費税込みで1,100円を会員へ支払っても、消費税の100円は払っていないことになるため、改めて同額の100円を当センターから税務署に納めなければならなくなります。

段階的な経過措置があるとはいえ、そのまま実施されれば、センターの運営に多大な影響を受けることとなります。

そのため、事務費率を引き上げることとして、今後、発注者様に丁寧に説明、お願いをしていきますので、会員の皆様につきましても、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



京都府シルバー人材センター連合会 人権研修会

令和4年12月12日(月)午後2時からハピネスふくちやま市民ホールにおいて、京都府シルバー人材センター主催の「京都府シルバー人材センター連合会 人権研修会」が開催され、中丹3市のシルバー人材センターの会員、職員約80人が参加しました。

龍谷大学非常勤講師の松波めぐみさんを講師に迎え、「障害のある人への差別を考える」をテーマに講演をしていただきました。

講演の中で、障害のある人に対して「保護の対象」から「権利の主体」へと、また、「障害」という問題の捉え方が“個人の悲劇”から社会のバリア(社会的障壁)こそが問題の原因であると価値観の転換が起こっており、一部の人を排除してきた“社会のあり方”、社会のバリアが、障害者の参加や権利を奪ってきた。障害者差別解消法は、障害があることを理由に利用を断る、条件をつけるという差別をしてはいけないこと、合理的配慮を提供することを義務とすることが定められている。合理的配慮が法制化されたことで、障害がある人がバリアを取り除くことを求めやすくなり、求めについて対話し、できる限り希望に沿えるように努めることで、障害のある人も障害のない人と同じく「人としての権利、尊厳」があることを確認することが差別をしないことにつながる、と話されました。



福知山市シルバー人材センター 人権研修会

令和4年12月21日(水)午後、京都府立中丹勤労者福祉会館において、「福知山市シルバー人材センター 人権研修会」を開催し、シルバー人材センターの会員、職員約40人が参加しました。

部落解放同盟京都府連合会の吉田寿書記次長を講師に迎え、「部落問題の現実とその解消に向けて」をテーマに講演をしていただきました。

近年の研究によって、部落差別はかつて言われていた江戸時代につくられた身分制度が起源ではなく、鎌倉時代から存在していたことが明らかとなっています。1871年の解放令により、被差別部落の人たちに免除されていた租税などの負担が新たに課され、担っていた仕事も奪われ、多くの人の生活が苦しくなったと話されました。

また、解放令公布から150年、全国水平社創立から100年、同和対策審議会答申から57年経過し、この間に多くの取組がされたにもかかわらず、最近の意識調査においても見られるように、なぜ現代社会の中に差別意識が残っているのでしょうかと問いかけられました。それは、「部落の人たちは怖い?」「部落の人たちは今も特別扱いされている?」など、直接見たことがないにもかかわらず、間違った情報を正しいことと信じてしまうことがあるのではないかと提起されました。まずは、部落の地域や人々のことを知り、その上で、部落差別の現実を知ってほしいと語りかけられました。さらに、部落差別だけでなく様々な人権課題があり、差別は人を傷つけるだけでなく、命を奪うものにもなると、自らの体験も含めてお話しされました。

最後に、「差別」の対義語を「平等」ではなく「尊敬」と捉え、人を「尊敬」することを共に進めていきたいと思いますと参加者に訴えられ、研修を締めくくられました。





「シルバーの日」清掃ボランティア活動

10月15日(土)全国一斉「シルバーの日」に合わせて、総勢76名でボランティア活動を実施しました。御霊公園では、落葉の処理、除草、剪定に会員51名、職員7名。三和地区では、井ノ奥公園の除草、清掃に会員15名、職員3名が参加し、約2時間の作業で汗を流しました。

清掃ボランティアは、新型コロナウイルス感染防止のため令和2年から中止にしており、3年ぶりの活動になりましたが、御霊公園、井ノ奥公園とも美しくなり、シルバー会員の力を思う存分発揮しました。

マラソンボランティア

11月23日(水、祝)に「第30回福知山マラソン」が3年ぶりに開催されました。当日は、朝からぐずつく雨の中清掃班(ゴミ分別)と場内警備班に分かれ、会員、職員33名が大会をサポートし、運営に貢献しました。



こも巻き

10月8日は二十四節気の一つで、本格的な秋の訪れを告げる「寒露」。福知山市猪崎の三段池公園内で、秋の風物詩になっている恒例の「こも巻き」(福知山市都市緑化協会主催)が行われました。

午前9時から会員5名が2人1組で、公園内の松約100本にわらで編まれたこもを根元から1メートルほどの高さに巻き、縄で縛る作業をしました。



シルバーショップ10周年

11月24日(木)シルバーショップ開催に先がけて、シルバーショップ10周年記念式典を行いました。

式典では長年にわたりシルバーショップの運営に多大なる貢献をされました

修正地区班 荒木静男 会員

大正地区班 伊木 正 会員

に感謝状を贈呈しました。



修正地区班 荒木静男 会員



大正地区班 伊木 正 会員

令和4年11月でシルバーショップも10周年を迎えることができました。

ありがとうございます。

皆様方には、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。順調にこのままいくと目標の売上高200万円以上が望めましたが、一昨年以来新型コロナウイルス感染防止のため、4ヶ月間も休まざるをえませんでした。その影響はサロン部の再開がいまだにできてません。シルバーショップの再開するにあたりお客様が戻ってきてくれるだろうかと心配をしておりましたが、継続していくことが、お客様のご期待に応えることになると考えています。

シルバーショップが引き続き発展することを願ってやみません。

今後ともどうぞよろしくお願いします。

シルバーショップ運営委員会 委員長 芦田胤雄

伝統への挑戦

「しめ縄製作委員会」が独自事業としてしめ飾りづくりに取り組んで16年目になります。年々技術も向上し、シルバーさんのしめ飾りは立派だと評判がよく、会員を通じて市外からの注文も来ています。

昔ながらの「しめ飾り」を一つ一つ丁寧に、新しい年の平和と安全を願いながら作っています。ゴボー、メガネ、ワ、神棚用等家庭用のものと、神社・仏閣用の太さ10cm、長さ6.5mもある大きなものまで合わせると、2,500個のものを作っています。

近年は正月用のリースに人気があり、「しめ縄製作部」も、日本古来の伝統と技術は守りながら新しいものにも挑戦してみようと、試みにリース状の飾りを作りました。

評判が良ければ、今後の課題にしたいと思っています。



令和4年度 会員互助会親睦 グラウンドゴルフ大会開催

令和4年10月15日(土)午後1時30分から大呂グラウンドゴルフ場(大呂)において会員互助会親睦グラウンドゴルフ大会が、会員、職員55名が参加して開催されました。

コロナ禍で、会員互助会の事業が中止になる中での開催でしたが、当日は、スタート前から絶好のゴルフ日和で、参加者はプレーを楽しみながら、会員同士の親睦を深めました。



- 👑 **優勝** 西村 寿彦 会員
- 👑 **第二位** 中川 敏子 会員
- 👑 **第三位** 今次 忠雄 会員



第15回 会員互助会親睦 グラウンドゴルフ大会に参加して



優勝者

上川口地区班
西村 寿彦 会員

大会当日は秋晴れの運動日和。そして緑のじゅうたんの中でするグラウンドゴルフは最高でした。おまけにリフレッシュもでき、会員同士の親睦もでき、有意義な一日になりました。ただ、私を困惑させたのが、コースがいつもの逆回りになっていたことでした。球を打つ感覚が、なかなかつかめず苦勞しましたが、良い結果を残すことができ大変幸運でした。これからも趣味、健康増進、認知症予防のため、グラウンドゴルフを続けていきたいと思っています。

事務局、会員互助会の役員スタッフの皆様方には大変お世話になり、ありがとうございました。

お客様からの声

京都府赤十字血液センター福知山出張所

出張所長 宮本 行孝 様



日頃は血液事業の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

当血液センターは長田野工業団地の西の端に位置し、この地に開設して以来、今年40周年を迎えることとなりました。シルバー人材センター様とは、シルバー様の開設の頃より約38年間お世話になっております。当初は、献血していただいた方への止血帯の縫製、献血バスの中で使用する採血ベッド専用の枕カバー等も作っていただいております。その後、時代の変遷で縫製の仕事は無くなりましたが、現在に至るまで、敷地内のさつきの剪定、除草及び館内の日常清掃作業について、長年携わっていただいております。

改めてこの長いお付き合いの中で振り返ってみますと、あの時もこの時も、とても丁寧な心のこもったお仕事をさせていただきました。まるで親からの愛情を受けているような、人生の先輩方から薫陶いただいたようなお仕事ぶりであったことに気が付きます。職員一同感謝の念に堪えません。

少子高齢化が進み、若年層人口が減少する中、血液事業も京都府北部の献血者確保に大変苦慮しているところです。一方、シニア世代の人口が増え、シニア世代の労働力や働く場が求められています。福知山市においても、いつまでも健康を維持され、人と交流し、生きがいを感じられるような、会員の皆様の働く場所や環境がより多様化していくことを期待すると共に、皆様の一層のご活躍を祈念いたします。

自分のスタイルに合わせた活躍の場、見つけませんか？

60代からの楽しみ方

就業していただくためには入会手続きが必要です

入会説明会

2月2日(木)・16日(木) 午後1:30~

***新規入会キャンペーン* 初年度年会費無料**

公益社団法人 **福知山市シルバー人材センター**

〒620-0051 福知山市昭和新町162番地

☎0773-23-7677



民間事業所様等の「清掃」「機械除草」のスタッフ募集中

●令和5年1月~2月

シルバー行事

お知らせ案内板

地区懇談会

開催予定

会員互助会
「日帰り親睦旅行」
「シルバーのつどい」

中止

の 声

2 度目の青春・シルバー時代

夜久野地区班 的 場 渡

シルバーの会員になって今年で3年が経過しましたが、定年退職した私を待ち構えていたのは、定番の自治会長の役でした。役務に追われ1年余りが過ぎた初夏の頃、旧知の先輩からシルバーの会員になって一緒に働かないか？空いた時間を活かして社会や事業に貢献して、生き甲斐と収入と新しい仲間を得られるとのお誘いを頂きました。退職後、時間はあってもやる気の出ない時でもあったので、ここはチャレンジの時と思い入会しました。

仕事は、週2日程度の日勤でしたので、地域の役職や少しばかりの田畑の世話にも支障なく、逆に生活のメリハリや、やる気も湧いて来て、退職後はモチベーションが上がらず、続ける事の意義を失いかけていた幾つかの趣味も止めることなく続ける事が出来ました。

新しい仕事に就き、まだまだ出来ることへの喜びや、やり甲斐を感じた事が、私の心に火を付けてくれた様に思っています。

今も長年続けてきた春と秋の「花と野菜の苗」、夏の「鈴虫」を育ててのプレゼント。秋から冬のカズラやぶどうヅルのカゴやリース作り、正月用の寄せ植えと門松作り、そして年末年始のイルミネーションは、夜久野の風物詩になっています。通年では流木と和紙を使った「和風スタンド」や木工を手の空いた時に続けています。木工は、子供や孫達の本馬やおもちゃ箱、ベビーベッドやジャングルジムのすべり台等の遊具や整理棚を作りましたが、現在は、不要な家具や廃材を再利用したSDGsのベンチやイス、机の制作にハマっています。

私は今年古希を迎えましたが、お陰様で健康で楽しく、やり甲斐を感じながらやりたい事が出来ている今は、「2度目の青春時代 = シルバー時代」と思っています。

新たな人との出会いや、今だから気付く発見や思いを地域活動や趣味を通じて少しでも発信して、明るく楽しい話題になればと思いながら次の準備に今も励んでいます。

「光秀公の聖地」・・清掃奉仕活動に参加

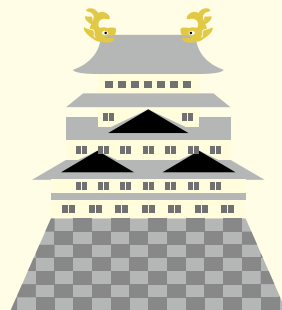
雀部地区班 松本和徳

大河ドラマ「麒麟が来る」で福知山市の観光シンボルとして定着した明智光秀公の聖地・御霊神社。10月15日（土）神社周辺での清掃奉仕活動に参加しました。

当日は朝8時30分から10時30分まで草刈り、剪定、草引き、落葉集めと作業を分担してスムーズに行いました。従来は近所の老人会、有志の皆さんがされていましたが、高齢化が進み、また管理も大変と福知山市シルバー人材センターが買って出たものです。

コロナ禍でボランティア活動もしにくい状況ですが、多くの方が利用する公園の環境美化は、お客様をお迎えする条件です。

多くの会員の皆さんと一緒に気持ちの良い汗を流しました。



投稿の
募集

投稿していただいた皆様、ありがとうございます。

事務局では、年2回発行の会報誌「シルバーふくちやま」に掲載する写真、投稿記事を募集しています。

題材は自由でどんなことでも結構です。体験談、感想文、随筆、俳句、趣味、雑感などをお気軽に。

会員の皆様のご寄稿をお待ちしています。

事務局職員の異動・紹介

●退職

- ・三和連絡所臨時職員
井上 雅文 (令和4年9月末付)
- ・総務係長
高見 久美 (令和4年11月末付)

大変お世話になり、

ありがとうございました。

●新規採用

- ・三和連絡所臨時職員
荒賀 正巳 (令和4年10月1日付)
- ・総務課職員
玉井 未佳 (令和4年12月1日付)

よろしくお願い致します。



就業相談日

会員からの就業に関する相談を受けます。就業の問題等どのようなことでも結構です。

相談日 毎月20日 午後2時～

(2日前までに事前申し込み必要)

相談対応者 安全就業委員長
及び事務局長

相談窓口開設

会員からの相談を受けます。事務局所開所時間のいつでも相談に応じます。気軽に相談してください。(予約不要)



編集後記

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

令和四年は、前々年、前年に引き続きコロナウィルスの感染防止に追われた一年でありましたが、いまだ終わりも見えず予断を許さない状況が続いております。一日も早い「収束が望まれます。また、緊迫するウクライナ情勢の動向は、世界の平和と経済情勢に大きな影響を及ぼすことから、注視する状況にあります。

また、我が国の人口は、平成20年をピークに減少の一途をたどっており、超高齢化社会の中で、労働力不足は大きな課題となっております。この現状からも、高齢者が豊かな生活を送るためには、多様な形態で高齢者の雇用、就業を促進していくことが重要となってきます。法令順守を第一義として「自主・自立・共同・共助」の理念のもとに、会員自らの自主的な活動を促進し、市民に信頼される存在であり続ける必要があります。

健康寿命を延ばし、自立した生きがいのある生活、仲間や地域づくりに、知識や経験を生かし、役立つ活動が出来る様取り組んでいただきたいと思っております。本年も皆様方のご健勝とご多幸、ご活躍をお祈り申し上げます。

- | | |
|-------|-------|
| 編集委員長 | 桑原 秀行 |
| 編集委員 | 加藤 洋行 |
| | 森 正宣 |
| 今次 淳一 | 水上 孝宣 |
| | 松田まゆみ |
| | 夜久 昭宏 |